

令和5年度

## 重点目標

### 各部の努力目標及び具体策



栃木県立栃木翔南高等学校

# 令和5年度の重点目標

- 1 諸活動への意欲的な取り組みを奨励することにより、心身ともに健康で主体的に学び合う活力ある生徒を育成する。
- 2 授業の工夫による生徒の学習意欲や体力の向上、豊かな情操の育成及び面談重視による生徒理解・生徒把握に努め、生徒の進路希望実現に繋げる。
- 3 国際理解教育の推進に力を注ぎ、国際的視野を持った生徒の育成を心掛ける。その上で、地域社会とも自ら積極的に関わる意識を醸成する。

## 令和5年度 努力目標及び具体策

### 1 教務部

【様式1】

努力目標	具体策	評価	上段【反省・課題】・下段【改善策】
1. 学習指導要領に基づく教育課程を確実に運用し、新しい大学入試に対応する力を養成する。	(1) 各学年の教育課程の実施状況を検証し、問題点を明確にする。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各教科等で、様々な問題点が明確になった。</li> <li>・観点別評価について不安が残る。</li> <li>・施設設備にも改善が必要である。</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員が共通認識を持ち、業務を振り分けていく。</li> <li>・常に大学入試の状況を確認し、必要な手段を施す。</li> <li>・シラバス等の利用方法も工夫していく。</li> </ul>
2. 令和5年度入試を確実に実施し、本校の志願者を増やして行く。	(1) 一日体験学習・中学校訪問で、本校の魅力を広報し、志願者が増加するように努めるとともに、学校HPの更なる充実を図る。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一日体験、中学校訪問では本校をPRできたが、本校志願者は少なかった。</li> <li>・HPは更新しやすくなり、行事についてはUPできたが、さらに更新が必要である。</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動の内容をHPに更新する。</li> <li>・英語弁論大会の内容等を一日体験などでPRする。</li> <li>・志願者減の中学校へPRする。</li> </ul>
	(2) 特色選抜・一般選抜の実施方法を十分検討し、入試が円滑に実施できるように努める。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特色選抜等の実施方法が様々な点で改善できたが、検証が必要である。</li> <li>・十分検討できたが、多くの時間を要してしまった。</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後は入試結果の分析を検討していく。</li> <li>・検討事項は整理し、少ない回数で効果的に実施する。</li> </ul>
3. 各係が、創意工夫を重ね、見直すべき点を見直し、確実に職務を遂	(1) 前年度の改善意見を参考にし、新しい視点で職務にあたる。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・決裁や朝の打合せ方法の変更など、前年踏襲の減少はあったが、さらに必要である。</li> <li>・責任者の負担が多い係があったり、前年の改</li> </ul>

行する。			<p>善意見が活かされていない場合もあった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・減らせる業務を検討し、無駄を省いていく。</li> <li>・改善意見を次年度に活かしていく。</li> </ul>
	(2) 係ごとの職務分析を明確にし、確実に職務を遂行する。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・円滑に職務を遂行し、連携を図るよう努めた。</li> <li>・確実に職務を遂行できたが、役割が明確ではない事があった。</li> <li>・職務を明確にするべき点がいくつかあった。</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度に職務を確実に引継ぐ。</li> <li>・職務を適切に割り振る。</li> </ul>

## 2 学習指導部

【様式1】

努力目標	具体策	評価	上段【反省・課題】・→【改善策】
<p>1. 生徒の主体的学びを促すことで、基礎学力の定着・向上を図ると共に、より高い学力の習得を目指す。</p>	<p>(1) ICT の活用も含めた授業の工夫に努め、基礎・基本の定着と学力の伸長を図る。</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業での活用や休校時の配信等、ICT のスムーズな導入ができていた。</li> <li>・授業で活用したが、パワーポイントやPDF等について生徒の理解不足が見られる。</li> <li>・研修会の実施や、活用例の情報交換があるとよい。</li> <li>・Wi-Fi のアクセスポイントが改善された。</li> </ul>
	<p>(2) 学習ガイダンスや普段の指導を通し、学習習慣を定着させるとともに、明確な目標を持って主体的に学ぶ姿勢を育成する。</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習ガイダンスで勉強の方法を指導する目的は果たされたが、生徒の学習習慣の定着につなげていくことが課題</li> <li>・明確な目標を持っている生徒とそうでない生徒の差が大きい。</li> <li>・学習ガイダンスをふまえ、月2回の学習計画表の配布・提出などを行って生徒の主体性を育ませている。</li> <li>・新科目「情報Ⅰ」の教授法、学習法などについて模索した。</li> <li>・外部講師による講演会の実施等も刺激になるのではないか。</li> <li>・この1年の実績と反省を参考に、次年度の学習指導に生かしていく。</li> </ul>
<p>2. 総合的な探究の時間の充実を図る。</p>	<p>(1) 他の分掌・校内組織と連携し、総合的な探究の時間に行う課題研究・進路学習の指導を効果的に伝えるよう努める。</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近年の推薦入試や総合型入試において総探や課題研究の重要性が増しているように感じる。</li> <li>・課題研究では、調べ学習に終始してしまうケースや、レポートのまとめ方を知らない生徒が見受けられるなどの反省があった。</li> <li>・文系生徒と、理系の医療系の生徒の提携先が課題である。→新たな受け入れ先を開拓中</li> <li>・大学訪問の事前課題の取り組みに個人差やグループの差が大きくなっていった。</li> <li>・学校として3年間の取り組みを見据えた計画を立てていく。</li> <li>・はじめに他校（先進校）の取り組みを調べた</li> </ul>

			<p>り、レポートの書き方を学んだりする機会を設ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学訪問の事前課題についての指導の時間を数時間設ける。</li> </ul>
3. 生徒の読書活動の推進を図る。	(1) 蔵書の充実を図るとともに、推薦図書の紹介やビブリオバトル等を通して、読書への興味・関心を喚起させる。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各賞受賞作の陳列方法が工夫されている。</li> <li>・新刊図書の充実や積極的な広報活動など、生徒の読書活動を推進する一層の働きかけが必要</li> </ul> <p>毎月係を中心に購入希望を提出するようにする。図書委員の活用。タブレットを活用して広報する。</p>
4. ボランティア活動、体験活動の充実を図る。	(1) 他の分掌・校内組織と協力し、ボランティア活動、体験活動を推進し、生徒が積極的に参加できるよう努める。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナの影響も収まりつつあり、多くの生徒が参加し充実したものになっていた。</li> <li>・部活動に加入していてもボランティア等に積極的に参加できるようにする。</li> </ul> <p>生徒の多様性を伸ばせるよう、受け入れ先を開拓していく。</p>

### 3 特別活動部

【様式1】

努力目標	具体策	評価	上段【反省・課題】・下段【改善策】
<p>1 生徒の主体的・実践的活動を促し、生徒会の活性化を図る。</p>	<p>(1) 生徒会の関わる各種学校行事について、役員に内容を十分検討させ、感染症対策を図りながら、より充実したものにする。</p>	<p>A</p>	<p>・初の8月の紫陽祭は、生徒会役員に検討させ、生徒主導で実施することができた。</p> <p>・生徒の努力により、紫陽祭は無事実施できた。</p> <p>・生徒会行事＝生徒会の先生のようにっており、業務分担が生徒とできていないこともあった。</p> <p>・教員間でもう少し連携がとれると良い。</p> <hr/> <p>・教員間の情報を共有を徹底する。</p> <p>・生徒会のみでなく、各委員会と協力して行事運営を行うようにする。</p> <p>・紫陽祭での係分担（委員会ごとの割り当て）を見直す。</p>
	<p>(2) 各種専門委員会・部活動などと生徒会役員の連携を強める。</p>		<p>B</p> <p>・生徒会行事＝生徒会実施のようにっており、委員会と連携がとれていなかった。</p> <p>・学校祭の時に学校祭実行委員をもっと運営に関わらせた方がよい。</p> <p>・行事の際、各委員会の先生、生徒に協力して行事運営をしてもらう。</p>
<p>2. HR 活動における生徒の主体性を育成し、望ましい人間関係の形成を図る。</p>	<p>(1) 各種委員会活動の自主的な活動を支援する。</p>	<p>B</p>	<p>・行事の時の一部しか仕事がない委員会がある。（委員会によって仕事内容の差がある。）</p> <p>・委員会の生徒にその委員会の一員であるという意識づけをもっとさせる。</p> <p>・活動を明確にする。委員会の活動内容を、各委員会の顧問教員や生徒に考えて見直してもらう。</p>
	<p>(2) 各学年と連携を取り、LHRの学校行事に向けたクラスの時間を確保し、生徒の主体的な活動を推進する。</p>		<p>B</p> <p>・縦のつながりが少ないような気がするので、もっと学年間で交流できるようにするとよい。</p> <p>・タブレットで作業した内容を印刷できる環境があると良い。</p> <p>・体育大会などは、学年を越えるチームでもよいのではないか。</p> <p>・PC室での印刷が可能か検討する。</p>

3. 部活動を活性化させる。	(1) 施設・設備の充実を図るように関係部署に働きかけ、部活動の活性化に繋げる。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・樹木の剪定等で環境を整えたが、夏の熱中症対策等が各顧問頼みになっている。</li> <li>・限られた予算の中では厳しい。</li> <li>・使用場所の施錠や清掃など、顧問間でもう少し連携が取れるとよい。</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別活動部として、課題を明確化し、上層部に伝える。</li> <li>・係が、顧問の先生方に、部員に使用場所や部室などの清掃をするように、朝の連絡などを通じて伝える。</li> </ul>
	(2) ホームページ等を通じて、広報活動を積極的に行う。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大会報告を行う部活動が少なかった。</li> <li>・ホームページの部活動のページが更新されていない。</li> <li>・係の先生に頼りっきりになってしまった。</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各部年1回は必ず更新するように強く促す。</li> <li>・大会報告は、ホームページでも行うようにする。</li> </ul>

#### 4 生徒指導部

【様式1】

努力目標	具体策	評価	上段【反省・課題】・下段【改善策】
<p>1. 統一された指導体制のもと、全職員が互いに協力、連携して生徒指導に当たる。</p>	<p>(1) 職員間の共通理解を図り、全学年を通じた公平性のある容儀指導と日常の指導を全職員で行うことで、正しい生活態度の確立を図る。</p>	<p>B</p>	<p>日常の容儀指導に職員間の差があり、公平性が保たれていない部分があるため、共通理解を図っていく必要がある。</p> <hr/> <p>全職員で日常の指導を行えるよう指導する部分の明確化を図り周知徹底する。</p>
	<p>(2) 渉外部と連携した挨拶運動や、昇降口付近での立哨指導を全職員で行い、地域との関わりや生徒の健全な育成を行う。</p>	<p>A</p>	<p>挨拶もしっかりできる生徒が増え、朝の立哨指導で服装を注意する生徒は減った。</p> <hr/> <p>今後も継続して立哨指導を行い、生徒の健全な育成を推進していく。</p>
<p>2. 教育相談を効果的に活用しながら生徒に対する生活支援を行う。</p>	<p>(1) 各部・各学年との連携を密にしながら、多様化する生徒の情報を収集・共有して対応することにより、生徒の学校生活の支援や改善を図る。</p>	<p>B</p>	<p>学年間では情報の共有ができていない部分がある。</p> <hr/> <p>全職員が情報を把握できるように 情報共有の仕方を工夫する。</p>
	<p>(2) SC や外部機関との連携を図ることで、教育相談の校内支援体制の充実を図る。</p>	<p>A</p>	<p>本年度もSC2名で充実した教育相談の体制を図ることができた。また、相談へ繋ぐ連携も共通理解を図りながら順調に進めることができた。</p> <hr/> <p>SC2名体制ができないときには、相談体制の工夫を図る必要がある。</p>
<p>3. 交通安全及び社会規範に対する意識の向上を図る。</p>	<p>(1) 交通講話や自転車点検、通学路における交通安全指導を実施することで交通安全意識の向上を図り、交通事故の撲滅を目指す。</p>	<p>A</p>	<p>スクエアードストレート方式による交通安全指導の実施など安全意識の向上を図ることができた。</p> <hr/> <p>スクエアードストレート方式は毎年実践できるものではないため、意識の向上を図る工夫をしていく必要がある。</p>

	<p>(2) いじめアンケートや外部機関と連携した種々の講話を実施し、いじめの未然防止や社会規範に対する意識の向上を図る。</p>	<p>B</p>	<p>いじめアンケートの実施により問題点を早期発見することができた。対応について更に共通理解を図って進めていく必要がある。</p> <hr/> <p>全職員で共通理解ができるように、情報共有の仕方を工夫する。</p>
--	---	----------	--

## 5 進路指導部

【様式1】

努力目標	具体策	評価	上段【反省・課題】・下段【改善策】
<p>1. 生徒の志望や適性を把握し、それらを通して1人1人の進路意識を高める。</p>	<p>(1) 進路適性検査、進路資料の活用や、進路講演会、大学見学、翔南一日大学、合格体験発表会等の実施によるキャリア形成の実践（キャリアパスポートの活用）</p>	<p>A</p>	<p>・各学年の様々な進路行事を通して、生徒1人ひとりが真剣に進路について考えることができた。</p> <p>・総探の授業で、学問分野について説明が足りず、生徒にどのようなものなのか伝わり切れていなかった。</p> <p>・大学見学は実施できなかったが、進路講演会や翔南一日大学は大変充実した内容で、進路意識を高められたと感じている。</p> <hr/> <p>・進路指導部としては過密なスケジュールの中で実施しているので、進路指導部全体で実施できるようにする。</p> <p>・進路探究ノートを活用する。</p> <p>・研究例などを紹介し、何について研究するのか明確にさせる説明をする。</p>
<p>2. 生徒に高い目標を設定させ、その達成に向けて努力させる。また入試方式の理解を深め自己実現に必要な要件を研究させる。</p>	<p>(1) 進路検討会等を充実させるとともに、各種の資料を分析、検討して提供し、志望校決定のための適切な助言をする。また総合型選抜、学校推薦型選抜の研究を行う。</p>	<p>A</p>	<p>・各種資料作成は非常に大変なので、分担して作成するようにはどうか（検討会資料も含めて）。</p> <p>・進路について、多くの助言をいただくことができ参考になった。</p> <p>・進路検討会は資料の工夫や内容の見直しを行い、準備や参加する先生方の負担をもっと減らした方がいい。</p> <p>・総合型選抜も指導する先生が必要。</p> <p>・丁寧な検討会では、個々に対応した助言ができていたと思われる。</p> <hr/> <p>・今後、国公立大学の総合型選抜を受験する生徒が増加することも考えられるので、推薦入試と同様に担当者の割り振りが必要。</p>
<p>3. 志望進路の実現に必要な総合的な学力を養成する。</p>	<p>(1) 大学入学共通テストや入試問題等を分析し、校内模試・実力テストの作問に生かす。また結果分析を充実させ、授業改善や生徒の学習</p>	<p>B</p>	<p>・実力テストの作問には時間がかかるが、様々な入試問題等に触れることができた。</p> <p>・入試問題正解や赤本の購入は充実していて分析や作問に生かすことができた。</p> <hr/> <p>・来年度は新課程で共通テストも変わるため、大学の情報をできるだけ早く収集し、対策を考</p>

	指導に資する。(特に大学入学共通テストや英語民間試験に関する情報の収集)		える必要がある。
4. 保護者や地域社会への広報活動に努め、進路指導に関する理解と協力を得る。	(1) 保護者面談、PTA総会、学年部会、支部会等を利用して進路情報を適切に伝える。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機会をとらえて進路情報を伝えることができた。</li> <li>・入試の仕組みや勉強法について、保護者が理解しきれていないように感じられた。</li> <li>・進路指導部長からのわかりやすい説明で十分理解して頂けたのでは無いか。</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別での聞き取りや生徒自身が理解し、保護者に説明できるようにする。</li> <li>・支部会においては、進路指導部長が何度も同じ話をするのは大変ではないか。(生徒指導、学習指導は支部担当教員で分担している。)</li> </ul>
5. 新学習指導要領や高大接続に向けた進路指導体制を構築する。	(1) 調査書、活動報告書等の作成や、大学入試の出題傾向等に関する情報を収集し、周知活用する。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入試情報の職員全体への周知とまでは至らなかったが、その都度、必要な学年への伝達はできた。</li> <li>・様々な情報をこまめに教えて頂き助かった。まだ、2年生の中でも行きたい大学と、そのために新課程で必要な科目を把握できていない生徒が見られる。</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年に全教科の職員が揃っているわけではないので、教科主任には伝えても良かったのかもしれない。</li> <li>・新課程になってからの受験科目をよく調べさせる。</li> </ul>

## 6 健康指導部

【様式1】

努力目標	具体策	評価	上段【反省・課題】・下段【改善策】
1. 生徒一人ひとりが心と身体の両面から健康管理ができるように指導する。	(1) 生徒が日頃から自分自身の健康について関心を持ち、感染症予防やけが防止等、積極的に自己健康管理が出来るよう、具体的アドバイスをする。	B	保健だよりの発行、加湿器・空気清浄機の整備、指導を適時に行った。 自己管理の点では、生徒によって細やかな指導が必要と思われる。 自己健康管理が出来るように様々な場面で継続的に指導していく。
	(2) 健康上配慮を要する生徒に対して、情報を共有し、連携を図りながら支援体制を強化する。	B	良く出来ていた。 健康診断後の事後措置で、何度指導しても未精検の生徒が若干いた。 安全のためにも精検受診は勧めたい。担任等、関係の先生方からも引き続き呼びかけてもらう。
2. 地域の方々と連携をし、安全で安心な学校環境を整備する。	(1) 災害時等の緊急事態発生時における教職員への周知及び近所の方々への事後の対応等を確立する。	B	予定通りに防災訓練を実施し、下都賀病院への連絡を行えた。 危機管理マニュアルの見直しを行った。 近所の方への事後対応については、よくわからない。 生徒の意識の高さを考慮し、夏の訓練は形式を変えても良いのではないか。
	(2) 救急患者の対応方法を明確にするため、生徒及び教職員を対象に講習会等を行い、危機意識の高揚を図る。	A	生徒対象の応急手当講習会、職員対象の救急救命講習会を行い、意識の高揚を図れた。 継続していく。
	(3) 安全点検を実施し、危険箇所の詳細を把握し早期に対処する。	A	予定通り実施できた。 事務部と協議して可能な限りの対応に努めた。 生徒の実情・実態を考慮し、安全点検は各学期1回（計3回）でも良いのではないか。
3. 学校環境の美化活動を推進する。	(1) 清掃分担区の監督割りの工夫を図り、清掃用備品・消耗品の管理及び補充を迅速に	A	教職員の数の減少等により、監督割を決めるのに難航した。 清掃用備品の補充を迅速かつ充分に対応できた。

	行う。		引き続き対応していく。
	(2) 各清掃分担区において具体的な目標を定めるなどし、自ら積極的に美化活動に取り組めるよう指導する。	B	<p>特に目標を定めるなどしていなかった。 指示待ちで自分から動けない生徒が散見された。</p> <p>清掃も課題解決の場であるとの意識を持たせる指導をしていく。</p>

## 7 国際理解部

【様式1】

努力目標	具体策	評価	上段【反省・課題】・下段【改善策】
<p>1. 将来、国際社会で他者と良いコミュニケーションを取りながら主体的に考え行動できる生徒の育成を図る。</p>	<p>(1) 主として校外の行事</p> <p>①オーストラリア語学研修 ②イングリッシュ・キャンプ</p>	A	<p>①例年通り7月に3週間で実施した。引率教員、生徒、現地スタッフでよく連携し緊急事態に備えた。</p> <p>②約40名が参加した。2泊3日の英語学習は貴重な体験となった。</p> <hr/> <p>①物価高騰の影響で来年度の実施期間を検討する。また、乗り継ぎ等のミスを避けるため直行便への変更も検討する。</p> <p>②今年度の内容をよく検討し、来年度も実施する。</p>
	<p>(2) 主として校内の行事</p> <p>①国際交流会 ②留学生の受け入れ ③生徒向け啓発資料“Mini World”の発行 ④“Global Village”の発行</p>	B	<p>①今年は6名の留学生を迎え、各教室で貴重な異文化体験ができた。内容も好評だった。</p> <p>②今年度は受け入れ留学生が0であった。</p> <p>③実施できなかった。</p> <p>④例年通り発行できた。</p> <hr/> <p>①来年度も同様に実施する。</p> <p>②来年度も受け入れ体制を整える。</p> <p>③、④来年度も発行予定である。</p>
<p>2. 生徒の進路実現のため英語を利用した様々な資格試験の受験に挑戦させる。また、様々な媒体を活用し、地域社会に本校の国際理解教育活動の様子を発信する。</p>	<p>(1) 実用英語技能検定試験を準会場として計画し、1・2年生全員の積極的な受験を奨励する。</p>	B	<p>生徒の英語学習の一助となった。</p> <p>準2級：194名 2級：101名受験</p> <hr/> <p>業務内容を再確認し来年度も実施する。</p>
	<p>(2) 国際理解部主催の学校行事を本校のホームページに掲載する。</p>	B	<p>国際理解部主催の行事後に学校のHPに行事内容を掲載することができた。</p> <hr/> <p>個人情報等に配慮し、来年度も継続して実施する。</p>

## 8 渉外部

【様式1】

努力目標	具体策	評価	上段【反省・課題】・下段【改善策】
1. 保護者および同窓会員との連携協力を密にし、特色ある活動の有効な実施をはかる。	(1) ふれあい挨拶活動と学校美化活動について、現状に対応した効果的な実施を工夫する。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の負担も大きいので、挨拶活動は検討すべきだと思う。</li> <li>・学校美化活動の時期が暑すぎるので、保護者と職員の安全のために変更を検討すべき。</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年2回程度（役員の方々に1回ずつ）門に立っていただくのはいかがか。</li> </ul>
	(2) 同窓生の学校行事への参加を促進し、キャリア教育の観点から、生徒の意識向上を目指す。		A
2. 各行事への保護者の積極的な参加を促す。	(1) P T A 行事（総会・研修旅行・学校美化活動・支部会）への保護者参加者数の向上を目指して、計画、広報を工夫する。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は無事に行事ができたことをまず良しとしたい。各行事については、今後さらに精選していくべきだとも思う。</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行事の精選・開催方法の工夫を図る。（支部会のオンライン開催、他の学校行事との併催、など。）</li> </ul>
	(2) 学校行事（学校祭・持久走大会）の協力活動について、改善できる点を明確にし、内容の充実をはかる。		B
3. P T A 組織・行事・会計の適切なあり方を検討する。	(1) P T A 組織や行事について、本校の現状や諸状況に合った適切なあり方について検討する。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事に参加する以外にも、生徒をサポートするようなこと（エアコン増設など）があれば、それも P T A としての貢献だと思う。</li> </ul>